

きずな

2019 **11** November

今号の題字

宮崎市立赤江東中学校 3年

梯 綾音さん



きずなを深める

宮崎市立赤江東中学校(三田明生校長 生徒数257名)では、「きずなを深める」活動がとて盛んです。体育大会では全校ダンスに代わって「応援合戦」なるプログラムを新設し、赤白両軍が練りに練ったパフォーマンスを披露しました。この活動で学年間や男女間、また観覧して下さる地域の方々とのきずなが深まりました。

また、東日本大震災後に交流が始まった宮城県の山元町から届いたひまわりの種をずっと植え続け、東北の皆さんのきずなを大切に守り続けています。さらに、音楽部を中心に地域の行事にも積極的に参加し、赤江東地区全体のきずなを深める活動も盛んです。

【教頭 高平 琢也】

CONTENTS

- ② 九P福岡県大会
- ③ 日P兵庫大会
- ④ 県Pリーダー等研修会
- ⑤ 県P情報
コラム「親がめ子がめ」
- ⑥ トピックス「えびの市立飯野中学校」
編集後記



「みんなが居心地のよい楽しい学校」の支援に取り組むPTA活動 ～子どもの健全育成と家庭・地域・学校の連携及び融和を目指して～

【えびの市立飯野中学校】（日高亘校長 生徒数200名）

えびの市は、県の南西部に位置し、宮崎県、鹿児島県、熊本県の三県の境界にあり、自然や人情の豊かなまちです。また、教育分野においては、学力の向上、生徒指導の充実、子ども同士の信頼関係の深まりをねらいとして、市内の全小中学校において30人学級が導入され、学校教育の充実が図られています。

飯野中学校ではめざす学校像として「みんなが居心地のよい楽しい学校」を掲げ、「志を高く、常に飯野魂（おそれない心ね

）だけで行うには大きな負担がかかります。

そこで本校では体育大会における事前準備にPTA会員が参加するのは当然のこととなっています。

特に今年度は

は、体育大会当日の開会式及び閉会式における進行を生徒が主体となって実施してきました。生徒には大変なプレッシャーがかかったかと思いますが、見事に大会を仕切り、自信をつけることができたと思います。また、保護者にとっても大きく成長をした我が子の姿を目の当たりにすることができた素晴らしい大会になったと思います。

年末には、生徒と一緒に飯野小学校のPTA役員も加わり、合同で門松作りを実施します。竹の切り出しは主にPTA役員のお父さんが担当しますが、組み立ては生徒が中心となり、立派な門松を作り上げて新年を迎えます。作業後はPTA役員のお母さんにより豚汁が振る舞われ、生徒の笑顔とともにその場が充実感に包まれます。

30人学級の導入により生徒一人ひとりに

先生の目が届きやすい環境は整いつつあるかもしれませんが、それでも授業や行事の時間確保等は大変なことだと思います。PTAをはじめ地域が関わり学校を支援していくことは必須となってきました。子どもの健全育成に加えて家庭・地域・学校の連携や融和を図り、「みんなが居心地のよい楽しい学校」に少しでも貢献できるように、これからもPTA活動を継続していきたいと思っています。

【広報部部长 黒木博】